

■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
単元株式数 100株
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日（中間配当を実施する場合）

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
特別口座の口座管理機関 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先） 〒183-8701
 東京都府中市日鋼町1番10
 住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先） ☎0120-176-417
（インターネットホームページURL） <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告により、当社のホームページに掲載します。
URL <http://www.mars-eng.co.jp/kessan/index.html>
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所 東京証券取引所

[マースジャーナル]
第36期 中間報告書
平成21年4月1日から平成21年9月30日まで



MARS Journal



株式会社 マースエンジニアリング
〒160-8420 東京都新宿区新宿1-10-7
TEL. 03-3352-8555 (代)
URL : <http://www.mars-eng.co.jp>



株式会社 マースエンジニアリング

進化するパーソナルPCシステムで 市場シェアの拡大を目指します。



代表取締役社長 松波 明宏

株主の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。当社の事業活動につきましては平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間期におけるパチンコ業界において、ホール経営を取り巻く金融環境は依然として厳しく、優劣がより一層鮮明になってきました。一方、少額で遊技が楽しめる低貸玉営業が時間消費型のレジャーとして認知され、遊技ファンの新規獲得やオールドファンの回帰を促し、遊技人口は下げ止まったように思われます。

そのような状況の中で、当社グループは遊技ファンの利便性や従業員の作業効率の改善を追求した玉積み・玉運び不要の「パーソナルPCシステム（以下、「パーソナル」という。）」を中心にトータルシステムの提案を行ってまいりました。玉積み演出が主流の当業界において、玉積みの必要がないパーソナルは市場から高い評価を受け、着実に導入実績を伸ばしてきました。

導入実績が400店舗を超えたことを機に、開発当初から考案していた有機ELを使用した「情報コンテンツ配信サービス」や遊技ファンの利便性を重視した「ファミリープログラム」を発表しました。3タイプのパーソナルに加え、ソフト面の充実を図り、パーソナルは他社の追随を許さないシステムへと進化を遂げました。

パーソナルを含むプリペイドシステムの市場シェアは、中期計画として掲げる20%の獲得が目前に迫り、今後更にシェアを拡大できるものと確信しております。

次期事業の柱として異業種へ展開するRFID事業においては、主に医療分野の展示会へ積極的に出展し、導入実績を積み重ね、今後の成長に期待しております。

株主の皆様には、今後とも格段のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

当中間期の業績

当第2四半期連結累計期間(中間期)の業績は、売上高155億3百万円(前年同期比8.6%増)、営業利益41億21百万円(同22.9%増)、経常利益42億56百万円(同22.1%増)、中間純利益26億35百万円(同36.7%増)となりました。

[アミューズメント関連事業部門]
(プリペイドカードシステム)

プリペイドカードシステムであるサイクルカードシステムは、遊技機ごとに計数機を備え付けた玉積み不要のパーソナルを主軸システムと位置付け、顧客ニーズに合わせて、高セキュリティで最上位モデルの「パーソナルⅠ」、工期が短くコストパフォーマンスに優れた「パーソナルⅡ」及び「パーソナルⅢ」をラインナップし、大手パチンコホールチェーンを中心に全国有数のパチンコホールへ導入を進めました。

この結果、パーソナルの売上実績は135店舗、発売以来の累計導入(実稼動)店舗数は当中間期末時点で452店舗となりました。また、パーソナルを含めたサイクルカードシステムの売上実績は176店舗、導入(実稼動)店舗数は累計2,010店舗(市場シェア19.7%)となり、中期計画として掲げていたプリペイドカードシステムにおける市場シェア20%の獲得が目前に迫りました。当システムの個別売上高は77億68百万円となりました。

(景品管理システム)

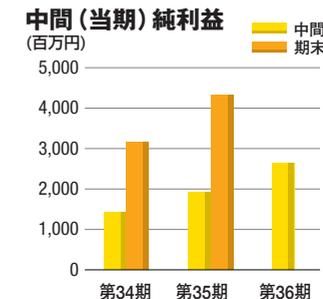
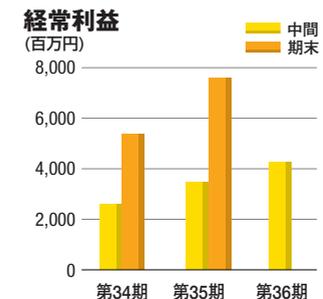
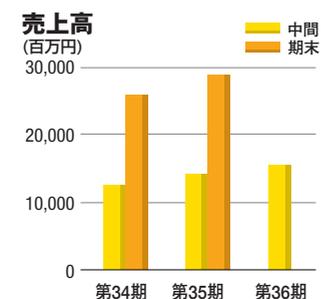
景品管理システムは、パーソナルと連動することで、遊技ファンの利便性やセキュリティが向上するため、パーソナルを導入するパチンコホールを中心に提案販売を行ってまいりました。また、システムの将来的な拡張性を見込んで段階的に導入が進みました。この結果、当システムの個別売上高は17億22百万円となりました。(RFID)

RFID市場の新規開拓を目指し、アミューズメント施設向けの認証システムやセキュリティ機器向け認証基板等においては、展示会等への積極的な出展を行いました。また、今後の成長に期待している健診センター向けシステムにおいては、順調に全国の施設へ導入してまいりました。この結果、RFIDの個別売上高は3億62百万円となりました。

その他品目の個別売上高を合計しました結果、アミューズメント関連事業部門の個別売上高は152億30百万円(前年同期比9.0%増)となりました。

[その他事業部門]

主としてホテル事業を行うその他事業部門は、JR博多駅近くの好立地や質の高いサービスが宿泊客から高い評価を得て高稼動を維持しております。この結果、その他事業部門の個別売上高は2億73百万円(前年同期比9.7%減)となりました。



進化するパーソナルPCシステム 全国制覇目前

当社はホール業務の効率化を目指し、高品質セキュリティで最上位モデルの「パーソナルⅠ」、設置が更に容易になった「パーソナルⅡ」、手元の玉箱に玉を貯める機能を追加した「パーソナルⅢ」の3タイプのパーソナルPCシステムで全国展開を図っています。業界標準化、そしてシェア10%の獲得を目指して進化するパーソナルPCシステムは、全国制覇目前です。

ソフトの充実

パーソナルPCシステムをご利用いただいている遊技ファンの皆様に、マースならではのプラスα(アルファ)のサービスを、ソフト面からも提供していきます。

「ファミリープログラム」

パーソナルPCシステムを複数のお客様でご利用になる際に、貯めた出玉を共有できるよう開発したプログラムです。

「コンテンツ配信」

パーソナルに設置されている有機EL画面に、様々な情報(コンテンツ)の配信を開始しました。

パーソナル発売当初より考慮していたこのコンテンツ配信サービスは、導入店舗数が400を超えたことを機にスタートいたしました。

配信情報は、文字情報としてスクロール表示され、毎日新聞社提供の様々な情報(時事ニュース6種類、全国天気予報など)の他、任意で各ホール店様のニュースも配信可能となっています。



全国で展示会を実施

パーソナルPCシステムの全国普及に向けて、昨年につき、今年も全国で展示会を開催。

北は北海道から南は九州まで、昨年未開催の地域を中心に展示会を開催しました。会場では、3タイプのパーソナルの他、新発表の「ファミリープログラム」や「コンテンツ配信サービス」を披露しました。



札幌展示会



秋田展示会



静岡展示会



東京展示会



金沢展示会



松山展示会



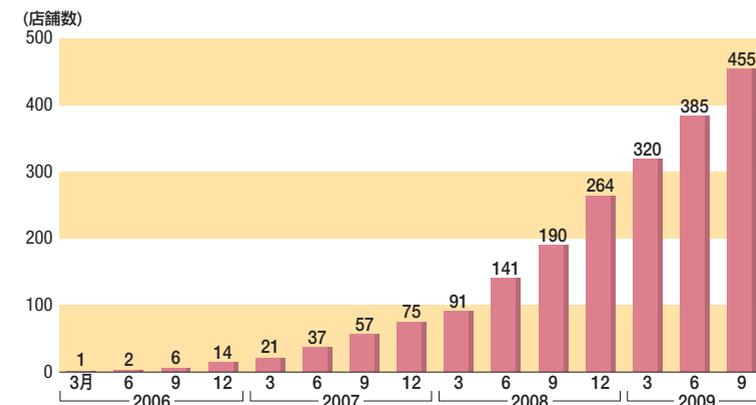
高知展示会



鹿児島展示会

パーソナルPCシステムの 売上店舗数(累計)

遊技ファン、ホール従業員、ホール経営者のそれぞれにメリットのあるパーソナルPCシステムは、全国規模で導入が着実に進んでいます。



パーソナルPCシステムが全国各地に続々と導入されています。

愛知県名古屋市中川区

タイハウ名駅南店様



飲食店、レンタルビデオ店、ボーリング場などが入る大型複合施設内に店舗しているタイハウ名駅南店様。

同店を運営するタイハウグループ様は、「生活の様々なシーンに笑顔をつくりたい」と愛知県18店舗のホール運営をはじめ、ファーストフードチェーン店やレンタル事業等、様々な事業を展開しています。

遊技ファンの快適な遊技空間とスタッフの働きやすい職場づくりに配慮される同グループ様は、系列店に続き、同店においてもパーソナルⅢやAir紙幣搬送をご採用いただきました。

タイハウ名駅南店様のコメント

女性から年配の方までどなたでも気軽に立ち寄れるお店として、今までパチンコ店とは異なる新しいイメージを築いてきました。

最新システムであるパーソナルPCシステムの導入をはじめ、サービス向上研修などのソフト面も徹底的に行うことでサービスの充実化を図り、お客様に満足していただけるお店づくりを目指しています。

千葉県千葉市若葉区

フラミンゴ千葉東店様



「フラミンゴ」の屋号で千葉県内に10店舗を展開する株式会社大日商事様。地域密着型の新しいテーマパークとして地域性や客層に合わせた店舗づくりで、地元ファンに愛され続けています。

千葉モノレールの3駅から程近くに店を構えるフラミンゴ千葉東店様は、「台移動が簡単、計数待ちなし、手が清潔」等、ファンの利便性を考えてパーソナルⅡを導入。系列の3店舗でもご採用いただきました。パーソナルは同社様の目指す新しいテーマパークづくりの一助となっています。

フラミンゴ千葉東店様のコメント

お年寄りや体の不自由な方にも安心してご来店していただけるように、段差の少ないスロープや手すりを設けたトイレなど、ユニバーサルデザインにも取り組んでいます。

従来のいわゆるパチンコ店から脱却し、地域に密着したテーマパークとして、パーソナルPCシステムを活用しながら「サービス」という付加価値を添えて、お客様をお迎えしています。

TOPICS 1

「健診ステーション」、 各種医療専門分野展示会へ出展。

当社子会社の株式会社マーステクノサイエンスが新たな販路拡大の一環として医療業界向けに発売している「健診ステーション」は、発売開始してから今年で3年目を迎え、業界のニーズと当社の技術がマッチし、導入件数が順調に推移しています。

今年は「国際モダンホスピタルショー2009」の他、予防医学を担う学術団体が創設50年を迎える日本人間ドック学会が主催する「第50回日本人間ドック学会学術大会」にも初出展し、医療業界内における認知度の向上に努めてまいりました。

今後は商品の多様化も含め、アプローチを強化し更なる導入件数の増加を図ってまいります。



「国際モダンホスピタルショー2009」の様子。



実際に「健診ステーション」を多くの方に体験していただきました。

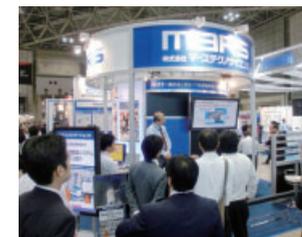
TOPICS 2

「第11回自動認識総合展」へ 新規開発製品を多数出展。

株式会社マーステクノサイエンスは、資本提携先である昭和情報機器株式会社と「第11回自動認識総合展」へ共同出展しました。

今回は、非接触型ICカードマルチ端末「MTR-200」、多機能端末「MTR-120P」、ハンディタイプリーダライタ「HRI-1200」を利用した様々な形のシステムソリューションの他、次世代リライイトカードプリンタ「RIC-250」やユーザビリティにも配慮したKIOSK端末「KTR-7000」を新規出品いたしました。

ブースには多数のお客様が来場され、今後の販売チャネルの拡大につながるものと確信しております。



多数の新製品を出品し、多くの方にご来場いただきました。



(左)次世代リライイトカードプリンタ「RIC-250」
(右)KIOSK端末「KTR-7000」

Consolidated Financial Statements [中間連結財務諸表]

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間連結 会計期間末 平成21年 9月30日現在	前中間連結 会計期間末 平成20年 9月30日現在	前連結 会計年度末 平成21年 3月31日現在
資産の部			
流動資産	40,449,556	29,892,202	37,928,828
固定資産	16,043,295	15,223,543	16,784,067
有形固定資産	9,987,818	9,665,314	10,077,883
無形固定資産	124,119	125,466	125,826
投資その他の資産	5,931,356	5,432,763	6,580,357
資産合計	56,492,851	45,115,746	54,712,896
負債の部			
流動負債	13,650,091	9,153,683	13,896,301
固定負債	5,700,749	2,640,855	5,445,064
負債合計	19,350,841	11,794,539	19,341,366
純資産の部			
株主資本	37,615,396	33,511,143	35,441,498
評価・換算差額等	△473,387	△481,097	△376,439
少数株主持分	—	291,161	306,470
純資産合計	37,142,009	33,321,207	35,371,529
負債純資産合計	56,492,851	45,115,746	54,712,896

中間連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間連結 会計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前中間連結 会計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前連結 会計年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高	15,503,848	14,270,688	28,893,731
売上原価	7,572,944	7,272,739	14,152,960
売上総利益	7,930,904	6,997,948	14,740,770
販売費及び一般管理費	3,809,721	3,643,427	7,337,916
営業利益	4,121,183	3,354,521	7,402,854
営業外収益	135,572	135,922	199,544
営業外費用	—	4,256	4,972
経常利益	4,256,756	3,486,186	7,597,425
特別利益	236,619	30,191	32,630
特別損失	11,609	303,697	328,343
税金等調整前中間(当期)純利益	4,481,766	3,212,680	7,301,712
法人税、住民税及び事業税	1,753,558	1,411,907	3,098,313
法人税等調整額	80,800	△141,340	△145,073
少数株主利益	12,351	14,293	29,018
中間(当期)純利益	2,635,055	1,927,819	4,319,454

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間連結 会計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前中間連結 会計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前連結 会計年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,024,819	2,509,180	4,827,651
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	367,942	1,952,258	431,535
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△468,476	△558,098	△1,018,879
IV 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	1,924,285	3,903,340	4,240,307
V 現金及び現金同等物の期首残高	14,264,479	10,024,171	10,024,171
VI 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	16,188,764	13,927,511	14,264,479

Non-consolidated Financial Statements [中間単体財務諸表]

中間単体貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間期 平成21年 9月30日現在	前中間期 平成20年 9月30日現在	前事業年度末 平成21年 3月31日現在
資産の部			
流動資産	19,387,212	17,090,612	17,996,303
固定資産	16,274,824	14,641,363	15,649,772
有形固定資産	3,939,355	4,157,415	4,004,716
無形固定資産	49,310	71,549	57,555
投資その他の資産	12,286,158	10,412,397	11,587,500
資産合計	35,662,036	31,731,976	33,646,075
負債の部			
流動負債	4,417,659	3,497,346	4,531,478
固定負債	642,762	793,909	626,346
負債合計	5,060,422	4,291,255	5,157,825
純資産の部			
株主資本	30,947,196	27,810,236	28,738,621
評価・換算差額等	△345,581	△369,515	△250,370
純資産合計	30,601,614	27,440,720	28,488,250
負債純資産合計	35,662,036	31,731,976	33,646,075

中間単体損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前中間期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前事業年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高	12,503,585	10,466,140	22,887,190
売上原価	6,923,401	5,611,301	12,504,913
売上総利益	5,580,183	4,854,839	10,382,277
販売費及び一般管理費	3,256,268	3,135,998	6,351,095
営業利益	2,323,915	1,718,840	4,031,182
営業外収益	1,203,747	1,237,037	1,302,199
営業外費用	—	3,100	3,501
経常利益	3,527,663	2,952,778	5,329,879
特別利益	239,827	39,885	39,113
特別損失	10,271	303,559	315,656
税引前中間(当期)純利益	3,757,218	2,689,104	5,053,337
法人税、住民税及び事業税	1,058,175	740,536	1,678,642
法人税等調整額	29,311	△93,997	△57,534
中間(当期)純利益	2,669,732	2,042,564	3,432,228

株式の状況

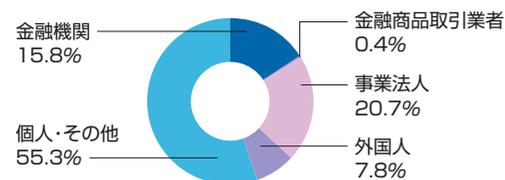
発行株式数及び株主数

発行可能株式総数	6,762万株
発行済株式の総数	2,272万株
株主数	4,464名

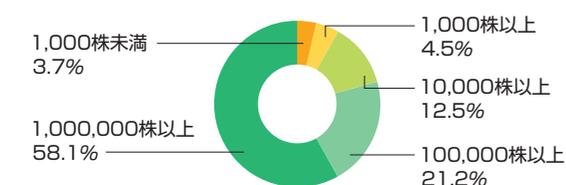
大株主の状況

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
(株)イー・エムプランニング	4,521	24.51
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,236	6.71
松波廣和	1,134	6.15
松波香代子	1,028	5.57
松波明宏	1,000	5.42
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	739	4.01
みずほ信託銀行(株)退職給付信託 東京都民銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	600	3.25
古宮重雄	490	2.66
五味輝雄	450	2.44
永井美香	432	2.34

所有者別分布状況



所有株数別分布状況



会社概要

商号	株式会社マースエンジニアリング (Mars Engineering Corporation)
本社所在地	東京都新宿区新宿一丁目10番7号
設立年月日	昭和49年9月13日
会社の目的	1. 各種電子機器の設計・試作並びに製造販売 2. ソフトウェアの開発 3. 電子機器の開発、企画並びに販売 4. ホテルの経営 5. 不動産の賃貸業 6. 建築工事の企画、設計並びにコンサルティング業務 7. 損害保険代理店業 8. 前各号に付帯する一切の業務
資本金	7,934,100,000円
就業者数	486名(男442名、女44名)

役員

代表取締役会長	古宮重雄
代表取締役社長	松波明宏
取締役副社長	五味輝雄
取締役相談役	松波廣和
取締役	大矢俊寿
取締役	村上浩
常勤監査役	佐藤忠義
監査役	竹俣耕一
監査役	小林郁夫

執行役員

営業本部長	秋山裕和
管理本部長兼経理部長	佐藤敏昭
ラインテック営業部長	杉内雄二
R&Dセンター長兼特許管理室長	佐野邦明
技術開発部長	井出平三郎
製造部長	渡邊廣美
品質保証部長	名取満郎



すべては実績とともに。

店頭公開、創業20周年、そして売上高100億円突破!

バブルの崩壊により景気が急速に悪化した中、遊技業界は引き続き好調を博しており、プリペイドカード(PC)対応のパチンコカードリーダー(CR)台が登場していました。

マースでは平成4年に会員カードシステム対応のEXシリーズを開発して、全国縦断展示会「ハイパーネットフェア」を開催し、好評を得ました。

これに手ごたえを感じ、同年にLAN接続して景品会員情報を一元管理化したハイパーコントローラ「HC-2000」を発売しました。このシステムは、業界で初めてカードによる会員管理と貯玉の実現に成功し、遊技施設への再来店を促す画期的なシステムとして評価されました。

マースの快進撃はとどまるところを知りません。この頃にはマースの景品管理システムが市場シェア45~50%に達し、特に玉数を表示する「磁気カード」



飛躍を期して創立20周年記念式典及び祝賀会が開催されました。

は業界に大好評でした。高まる需要を背景に、平成5年3月に三島技術センターを竣工させて技術の集中移転を行い、その4ヵ月後の平成5年7月には全国8ヵ所で「NEW来店戦略M-NETフェア」を実施。翌年7月には情報処理の高速化と小型化に対応したホールコンピュータ「M-Ⅲ(MAGMA-Ⅲ)」を発売し、「トータルインテグレーションフェア」を再び全国で実施し、更なる評価をいただきました。

次なる時代を見据えて開発にいそしんできたマースは、平成5年11月25日には念願の店頭公開を果たし、翌年には創業20周年、そして売上高100億円を突破することができました。